第２回宇宙核物理連絡協議会議事録

日時：2008 年 9 月 21 日（日）12:15-13:15
場所：山形大学（日本物理学会分科会 SN 会場）

出席者（順不同、敬称略）：
宇都宮（甲南大理工）、本林（理研仁科センター）、久保野（東大 CNS）、宮武（KEK）、寺西（九大理）、西村（書記、理研仁科センター）、小浦（原子力機構）、橘（早大）、吉田（国立天文台）、秋宗（甲南大理工）、嶋（司会、阪大 RCNP）

Ｉ．報告

１．宇核連ホームページおよびメーリングリストの運用が開始された旨が報告された。
ホームページアドレス： http://www.phys.konan-u.ac.jp/Ukakuren/index.html
メーリングリストアドレス： ukakuren@riken.jp

２．2008/9/21 現在の会員数および分野別内訳が報告された。

実験核	３２名
理論核	２０名
天文理論	９名
天文観測（隕石科学を含む）	５名
宇宙線	５名
原子力（核データ、中性子を含む）	４名
その他	３名
合計	７８名

＊なお、この会の趣旨から明らかにはずれていると思われる目的での入会希望があったが、代表がメールで再度趣旨を説明した結果、入会申し込みが取り下げられた件について、宇都宮氏より経緯の説明があった。

３．シンポジウム、ワークショップ等
以下のシンポジウム、ワークショップ等について報告及び告知された。
(1) 宇核連主催・物理学会シンポジウム（2008/9/20、山形大学）
(2) 宇核連・第１回研究戦略ワークショップ（2008/9/25,26、理研）

(3) 国立天文台談話会 (2008/9/19)
B.S. Meyer 氏 (Clemson Univ.)
(4) 甲南大コロキウム (2008/9/29)
B.S. Meyer 氏 (Clemson Univ.)、河野俊彦氏 (LANL)
(5) 理研レクチャー (日程未定)
K. Langanke 氏

Ⅱ．議題

１．入会規則について

報告事項２に関連して、入会受付にあたっての要件が議論され、

・ＨＰの「入会案内」に、入会時に審査がある旨を表記する
・入会申し込みを受けた時点で、現会員の中で入会希望者と研究分野が近いメンバーに照会し、可否を判断する

を当面の方針とした。

２．会員名簿の利用について

会員の登録情報について、どこまでの内容をどの程度の範囲まで公開するかが議論され、以下のような意見が出された。

i) 会員間の連絡はメーリングリストがあれば達成できるので、登録情報をすべて提供することは、会員に限定したとしても、過剰ではないか。
ii) 少なくとも現在は、パスワードによるアクセス制限をかけており、パスワードの配布もまだ行なっていない。
iii) 既にどのような人が入会しているかをみて、自分も入会するかどうかを判断する人もいるのではないか。
iv) 名前と所属だけを公開してはどうか。
v) 会員名を公開している団体はないのでは？
vi) 全会員数と分野別内訳だけでよいのでは。
vii) 分野ごとにコンタクトパーソンを決め、その氏名・所属・連絡先だけを公開するのはどうか？

さしあたって、特に支障がなく、情報として有用と思われる vi)を実施し、それ以上の情報公開の必要性の有無については引き続き議論する。

３．運営委員の任命について

野本憲一氏（東大理、数物機構）、青木和光氏（国立天文台）が新たに運営委員として任命された。

４．オブザーバー委員の任命について

櫻井博義氏（理研）のオブザーバー委員任命について議論され、以下のような意見が出された。

i) 理研 RIBF の立場から必要に応じてコメントを出したいというのであれば、普通に会員として参加していただければ満たされるのではないか。

ii) 当会の活動上、RIBF の持つ意味合いが大きいので、RIBF の立場からの意見を述べていただく方に運営委員会に参加してもらいたい。

iii) RIBF からは既に２名の運営委員が存在する。
（正しくは運営委員、幹事各１名）

iv) オブザーバー委員は直接運営に携わるのではなく、参考意見を述べていただく存在と考えている。櫻井氏は、先日の佐藤氏の開催した学術会議で RIBF の長期的戦略について述べた経緯もある。

v) iv)は RIBF の研究計画を述べたものであって、宇宙核を代表したものではない。

vi) 他にも、運営委員会に対して意見やアドバイスをいただける方々にオブザーバー委員を引き受けていただきたい。たとえば佐藤勝彦氏にもそのような形で協力を求めたい。

vii) いろいろな形の協力があり得るので、限定しない方がよいのでは。

議論の結果、以下の方針で進めることとなった。

・オブザーバー委員（あるいはより適切な呼称を今後検討）と既存の運営委員の役割の違いをはっきりさせた上で、協力を求めたい方々に依頼する。
・櫻井氏に関しては、まず入会していただいた上であらためて議論する。
・佐藤勝彦氏（東大理、数物機構）には、代表から再度趣旨を説明し、依頼する。

（2008 年 9 月 30 日作成、文責　西村）